

液槽冷熱衝撃装置(TSB、x1タイプ)  
 Q: 停電復帰動作設定を教えてください。  
 【型式】TSB-21, TSB-51

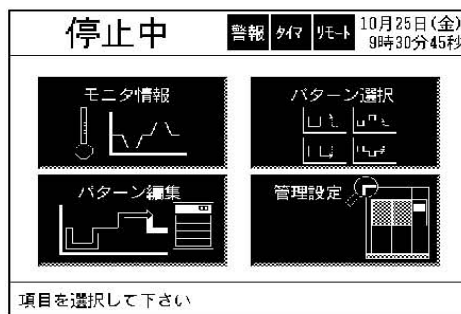
A: 次の通りです。下記はユーザーズマニュアルの抜粋です。

## 5.7 環境設定

### メンテナンス項目を選択する

手順 1. メニューが表示されている状態から管理設定モードにします。

**管理設定** を押してください。



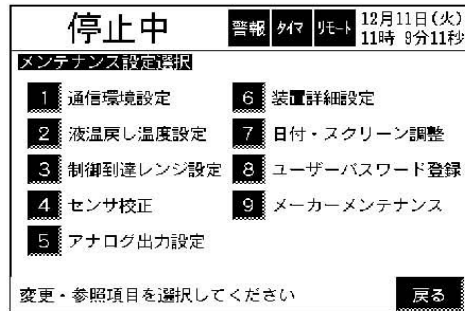
2. 管理設定選択画面から**メンテナンス設定**を選択します。



3. ユーザーパスワードを入力します。  
 文字入力画面が表示されますので、パスワードを入力してください。  
 パスワードが設定されていないときは、この画面は表示されません。手順4に移ります。



4. メンテナンス設定選択画面になります。環境設定を行ってください。



**【メンテナンス項目】**

1. 通信環境設定
2. 液温戻し温度設定
3. 制御到達レンジ設定
4. センサ校正
5. アナログ出力設定
6. 装置詳細設定
7. 日付・スクリーン設定
8. ユーザーパスワード登録
9. メーカーメンテナンス  
(サービスの時に使用します。ユーザーは使用しません)

## 装置詳細設定

### ⚠必ず実施(⚠注意)

- 電源周波数の設定は必ず装置が接続されている一次側電源に合わせて設定してください。

電源周波数設定が正しくない、温度下降不良、温度の乱れの原因となります。

停電復帰動作設定、装置電源遮断設定、試験終了時のブザー音設定、電源周波数設定を行います。

- 手 順 1. メンテナンス設定選択画面から **6** (装置詳細設定) を選択します。

停止中	警報	タイマ	戻	1月 8日(水)
				5時59分34秒
装置詳細設定				
停電復帰動作設定	電源(切)	運転継続		
装置電源遮断設定	有効	無効		
試験終了時のブザー音設定	鳴らす	鳴らさない		
電源周波数設定	50Hz	60Hz		
変更する設定値を選択してください				戻る

2. 停電復帰動作設定を行います。  
停電が発生した後の復帰動作について設定します。  
**電源(切)**：停電復帰後はパネル電源(切)の状態にします。  
**運転継続**：停電復帰後は停電発生前の運転状態を継続します。  
停電発生前に行っていたさらし状態を初めから開始します。
3. 装置電源遮断設定を行います。  
試験終了条件で、停止または液温戻し後停止を選択している場合に有効です。  
**有効**：試験終了後に選択している終了条件で運転を行った後に、約10分後に主電源スイッチから全電源を遮断します。  
**無効**：装置電源遮断機能は無効です。
4. 試験終了時のブザー音設定を行います。  
**鳴らす**：試験が終了し停止状態または準備運転状態になるとブザーが断続音で30秒間鳴ります。  
**鳴らさない**：試験が終了し停止状態または準備運転状態になってもブザー音は鳴りません。

5. 電源周波数設定を選択します。  
接続する一次側電源に合わせて選択してください。

**お願い** 電源周波数設定は主電源スイッチをONするときに変更されます。電源周波数設定の選択を変更した場合、必ず主電源スイッチをOFFにしたあと、再度ONにしてください。  
積算時間計の周波数変更は、基本操作編「第4章 設置する 積算時間計の電源周波数の設定方法」を参照してください。

**参考** 装置電源遮断設定で「有効」を選択している場合は、試験終了時のブザー音設定で「鳴らす」を選択してもブザーは鳴りません。